

ガールスカウト宮崎県第14団
リーダー

ほり ほなみ
堀 穂波 さん



学びたいと思う子どもたちのために
自らも成長しながら活動を続ける

女性が社会で生きていく

ための力を育む活動を行う
ガールスカウト。年齢に応
じたプログラムを用意し、
「自ら考え行動できる女性
の育成」を目指している。

小林では宮崎県ガールスカ
ウト第14団が11年前に設立
され、堀穂波さんは当初か
ら活動に携わってきた。

「10年以上続けられてい
るのは、子どもたちの成長
を見られることがうれしい
から。団員は自分の子ども
のようにかわいいですね」。
11年前、子どもが成人し
子育ても一段落したとき
に、ガールスカウトへの誘
いがあり、運営を行う団委

員長を引き受けた。

ガールスカウトの活動に
は子どもたちを指導する
リーダーが必要。しかし、
設立から2年後、唯一資格
を持っていたリーダーが出

産のため参加できなくな
り、団の存続が危ぶまれた。

「学びたいと思う子ども
たちのために迷いはありま
せんでした」。

仕事の傍ら、勉強を重ね、
県内外の研修に参加し、資
格を取得した。その後、指
導者の育成も重要と考え、
リーダーを育成するトレー
ナーの資格も取得した。
「ガールスカウトは、ア
ウトドアをするイメージが

強いが、国際的な団体のた
め、英語や世界の情勢など
幅広く勉強しなければなら
ない。子どもたちだけでな
く、自分自身も成長させて
もらっています」。

昨年、10周年を迎え、設
立当初は小学2年生だった
子どもたちが高校卒業を迎
え卒団した。

「高校卒業後の進路を
しっかりと考えている様子
を見て、自ら考え行動がで
きる女性になっていると感
じられたことが、何より嬉
しかったですね」。

これからも、未来を担う
少女たちのために自らも成
長しながら活動を続ける。



④キャンプ実習では、力
仕事も役割を決め女性だ
けで行う。「効率のよい方
法を子どもたちは身につ
ける」と堀さん。⑤・⑥
市が主催する運動会や成
人式など地域活動にも積
極的に参加している。